

歯科医学入門（歯科医学総合講義1）

1 年次 後学期	授業科目責任者：1 年次学年教育主任
----------	--------------------

学習の目標 (GIO)	<p>社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医師となるため、これまでの講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部 Student Doctor * として必要な態度・知識・技能を習得する。</p> <p>* Student Doctor とは院内生を示し、共用試験の合格した学生に授与される称号である。</p> <p>これまで1年次から臨床に近い講義を導入することを望む意見がしばしば聞かれたが、実現には至ってはいなかった。本講義では、臨床系講座に所属する教員が臨床事例を提示し、診断・治療を概説する。これらの内容を理解するためには、多くの高度な知識が必要であるが、その根幹に存在するのは物理・化学・生物の知識である。したがって、本講義の目標は、臨床事例を理解するためには、高等学校の物理・化学・生物のどの様な知識が必要かを理解することにある。講義の出発点を明確に設定するため、高等学校の物理・化学・生物の教科書、参考書を教材にあてる。また、臨床事例を理解するためには口腔内の基本的な構造を理解する必要があり、臨床系教員からの解剖・組織・病理を担当する教員への口腔内の基本構造の提示依頼が講義全体の出発点となる。さらに、歯科医療に必要、あるいは関連するいくつかの英単語を挙げ、ラテン語を背景とした語源などを基として各単語の関連性を説明する。</p>
授業担当者	解剖学 i、佐々木佳世子、口腔病理学 宇都宮忠彦、歯内療法学 松島潔、歯科麻酔学 卯田昭夫、放射線学 金田隆、森進太郎、小椋一朗、ドイツ語 渡邊徳明
教科書	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考図書	ダイナミックワイド図説化学、生物学（東京書籍）
実習器材	なし。
評価方法 (EV)	定期試験、小テスト、出席状況・受講態度などをもって総合評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	本講義に対する定期試験は1年次の「まとめ試験」であり、担当教員により提示された英単語も含めて正しく理解すること。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月3日(水) 2時間	ガイダンス 人体における位置と方向	本講義の流れを概説する。 人体の位置と方向を示す用語や細胞・組織の基本について学ぶ。 人体の位置と方向を示す解剖学用語について説明できる。 細胞や組織の基本的なミクロ構造について説明できる。	宇都宮忠彦 佐々木佳世子
10月10日(水) 2時間	組織の成り立ちと病変	病変における細胞と組織の変化に関する基礎を学習する。 細胞の接着について基本的な事項を説明できる。 組織や細胞の病変に関する基本的な形態的特徴について説明できる。 細胞の接着について基本的な事項を説明できる。	同上
10月17日(水) 2時間	授業項目：ヒトの体を形作るもの	授業内容：人体を構成する系統と構造について学習する。 人体を構成する系統について説明できる。 人体各部の概要について説明できる。 心臓と血液循環について説明できる。	同上
10月24日(水) 2時間	医学用語の背景 1	解剖・組織・病理の講義に用いられるヨーロッパ語系の言語について、その語源的成り立ちを説明できる。	渡邊徳明
10月31日(水) 2時間	歯科医学を学ぶために数学の必要性を理解する。	対数の計算(pHの計算)を理解し、歯科医学の分野で活用できる。 数列を理解し、歯科分野で活用できる。 生命現象を数値化することの意義を述べることができる。 麻酔効果と局所麻酔薬の特徴を述べることができる。 ヘンダーソン・ハッセルバルヒの法則を理解する。	卯田昭夫
11月7日(水) 2時間	パーフェクトペリオ;(機能水)を開発するために何を学習すべきか述べることができる。	殺菌・滅菌・消毒・抗菌の概念を理解する。 齲蝕の原因菌を述べることができる。 歯周病の原因菌を述べることができる。	同上
11月14日(水) 2時間	酸素投与の重要性を理解するために酸素運搬について述べるができる。	ヘンリーの法則を理解する。 アボガドロの法則を理解する。	同上
11月21日(水) 2時間	医学用語の背景 2	麻酔学・細菌学関連の講義に用いられるヨーロッパ語系の言語について、その語源的成り立ちを理解できる。 医学の発展に寄与した欧米の学者の活動について、歴史的・社会的・文化的背景を踏まえながら理解できる。	渡邊徳明
11月28日(水) 2時間	放射線と健康 1	放射線の種類を説明できる エックス線の波長について説明できる	森進太郎
12月5日(水) 2時間	放射線と健康 2	放射線の生物学的効果を説明できる 確定的影響と確率的影響を説明できる	金田隆
12月12日(水) 2時間	放射線と健康 3	放射性同位元素について説明できる 半減期について説明できる	小椋一朗

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
12月19日(水) 2時間	むし歯を知る。	イオン化傾向を説明できる。 水素イオン濃度(pH)を説明できる。 対数グラフを用いて、作図できる。 臨界pHを説明できる。 歯が溶けるを説明できる。 う蝕(むし歯)を説明できる。	松島潔
1月9日(水) 2時間	歯の痛み、歯肉の腫れ	半透膜を説明できる。 “濃度高い溶液と低い溶液をあわせる”を説明できる。 浸透圧を説明できる。 生理食塩水を説明できる。 歯肉の腫れを説明できる。 むし歯で甘いものがしみるを説明できる。	同上
1月16日(水) 2時間	歯科で使用する光と電気と音	電気抵抗を説明できる。 インピーダンスを説明できる。 歯根の長さの測定原理を説明できる。 電磁波と光を説明できる。 電磁波の波長を説明できる。 光(電磁波)の波長と生体を説明できる。 レーザーを説明できる。 超音波を説明できる。 キャビテーションを説明できる。	同上
1月23日(水) 2時間	全体のまとめ	紹介された臨床事例と、物理、化学、生物との結びつきをMapとして具体的に提示し、まとめ試験の骨子として活用する。 練習問題を準備するので、十分に復習する。	城座映明